

2023年 ISO年次会合報告

経済産業省基準認証政策課

国際連携担当調整官

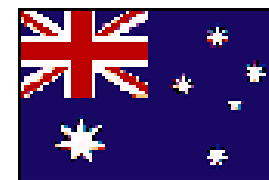
上嶋 裕樹

令和5年11月8日

本資料に掲載している写真は
全てISOホームページより引用

2023年ISO年次会合 開催概要

- 日程：9月18日（月）～22日（金）
- 場所：オーストラリア・ブリスベン
- 日本は遠藤JISC会長をヘッドに6名が現地参加
- 177か国から7,225名が参加（オンラインを含む）
- “Meeting global needs”がテーマ
- 42のサイドイベントも開催（パネルディスカッション、ワークショップ、エクスカージョン）



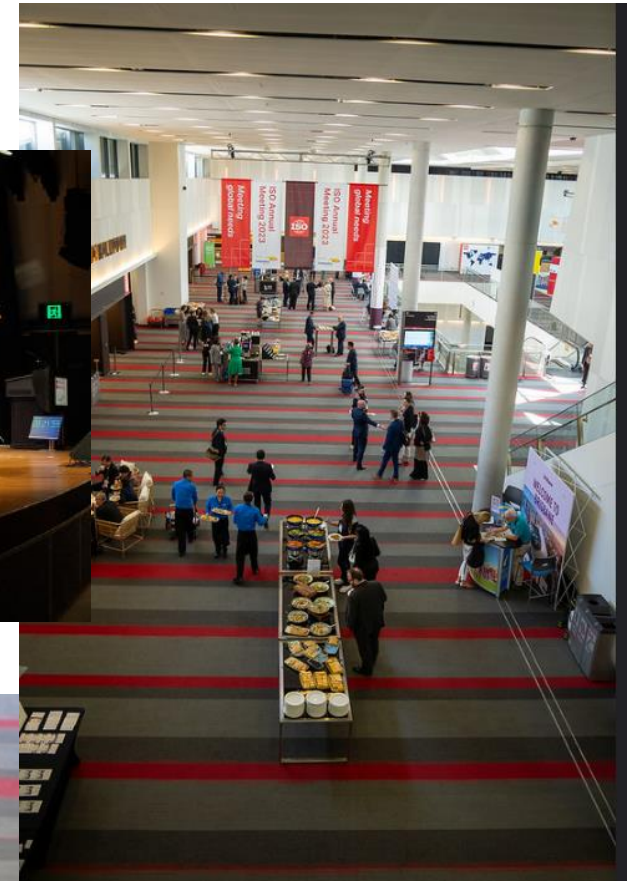
2023年ISO年次会合 風景



選挙投票



オープニング



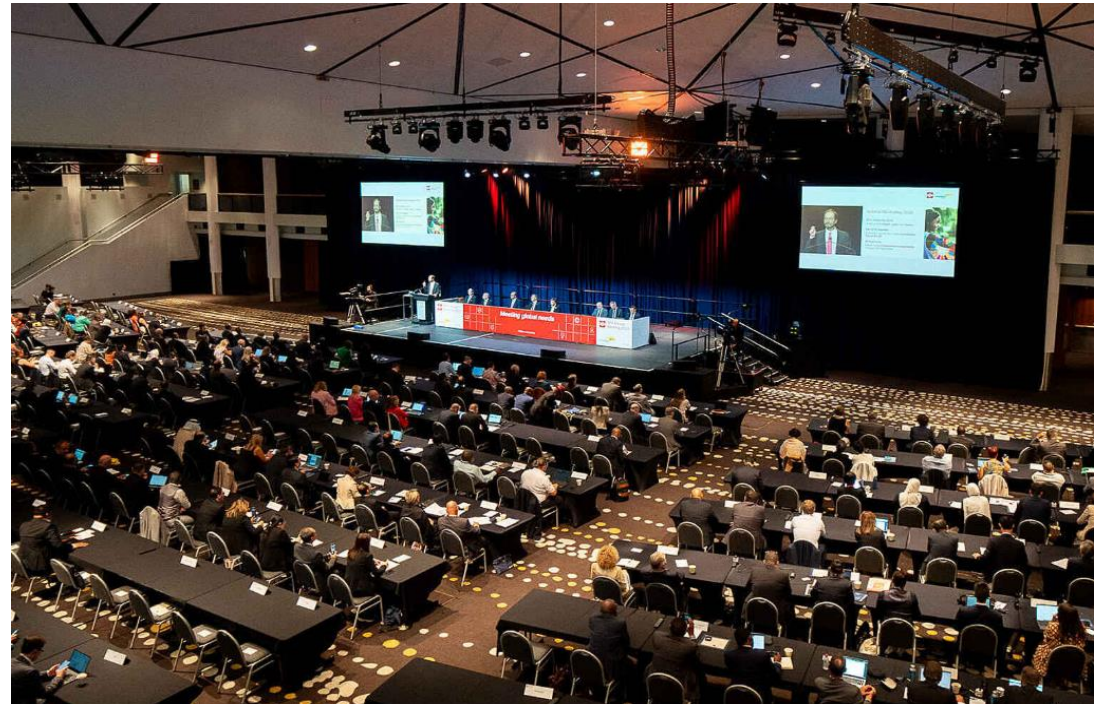
会場のホワイエ



ヘッドオブデリゲーションの集合写真

第45回ISO総会（9月21日） 主要議題

1. 事務総長の報告
2. ISO戦略2030の見直し
3. 会計報告
4. ISO理事会メンバー選挙
5. L.D.アイカー賞の授与



会場風景

1. 事務総長の報告

➤ 総会決議2/2023：事務総長報告

・ 持続可能性－気候

約80の気候変動に関連する規格を特定し、関連するTCに対する調査結果を報告。外部から**気候アドバイザー**が採用され、規格改正などを行う当該TCを支援。今後は、より多くの規格に拡大。

・ 持続可能性－多様性と包摂性

異なるグループの人々のニーズを考慮して、規格開発できるように**ジェンダー**行動計画の進捗を報告。2024年1月以降に、**標準化人材の持続可能性**のを探るため、委員会内の参加者性別、年齢の把握に向けたデータ収集を開始予定。また、**若手**を関与させるプロジェクトも開始。

・ IEC/ISO SMART

関係者がSMART規格はどうあるべきかという学習段階を完了し、実行に向けたパイロット段階に移行中。

2. ISO戦略2030の見直し

➤ 総会決議4/2023：最新版ISO戦略2030の確認

世界情勢の変化に対応するため、当初より発行後3年目に見直しを予定しており、実施したもの。

- ・ 大前提のビジョンやミッションは不変。妥当性の確認、実施効率性評価、メンバーの意識と関与の確認（アンケート）を行い、理事会が議論し決定。
- ・ ISOにとっての「持続可能性」を明確化する記述（**現在**のニーズを見直しつつ、**将来の世代**のニーズも遵守）の追加。
- ・ 国際標準のインパクトや重要性に影響を与える、**経済、技術、社会、環境**という4つの変革要因を分かりやすく記載し、統合的なアプローチができるように改正。
- ・ 「ISO規格を通じて環境持続可能性を推進」を優先事項に追加し、「**環境持続可能性**」プログラムに変更。

3. 会計報告

➤ 総会決議 5/2023 : 2022年ISO/CS財務諸表

- ・ 2022年の会計報告。

※kCHF = 1,000スイスフラン

2022年剰余金 : **△341 kCHF**※ (2021年は6,127 kCHF)

(内訳) 営業黒字2,399 kCHF (2021年は5,486 kCHF)

財務収入**△2,740 kCHF** (2021年は641 kCHF)

➤ 総会決議 6/2023 : 2024年のISO会員費

- ・ 2024～2026年の日本のユニット数 : 341口

※2023年は325口、16口（5%）の増加。

- ・ 2024年ユニット単価 : 4,675 CHF (2023年と同額)

➤ 総会決議 7/2023 : 2024年度会計監査人

- ・ 2023年と同様に、Deloitteを2024会計年度の会計監査に任命。

4. ISO理事会メンバー選挙

- 総会決議 9/2023 : 2024年～2026年期の理事会メンバーの選出
新たに以下の5か国の理事会メンバーが選出された。

- ・グループ2 : 韓国
- ・グループ3 : サウジアラビア、シンガポール
- ・グループ4 : バハマ、チュニジア



2024年理事会メンバー（20か国）

※____下線は今回新しく（任期：2024年～2026年）選ばれた国。グループ1 常任理事国の6か国（日、米、仏、独、英、中）は選挙はないため、米、仏、独は再任。

欧州/中央アジア(6) : フランス、英国、ドイツ、トルコ、イタリア、サウジアラビア

アジア/太平洋(7) : 日本、中国、韓国、豪州、インド、マレーシア、シンガポール

アフリカ/アラブ(3) : ケニア、エジプト、チュニジア

アメリカ/カリビアン(4) : 米国、ブラジル、コスタリカ、バハマ

5. L.D.アイカー賞の授与

- L.D.アイカー賞：多大な貢献をし、卓越性を示した委員会を表彰
ISO/JTC1/SC42 人工知能（幹事国：米国）に授与
<https://www.iso.org/news/awards/LDE-award-2023>



その他の総会決議ほか

- 総会決議1/2023 : 2022年総会の議事録の上程
- 総会決議3/2023 : IEC, ITUとの協力
- 総会決議8/2023 : ISO会則の改正
- 総会決議10/2023 : 副会長〔政策〕の再任
- 特別総会決議1/2023 : 2023年ISO年次総会の主催者への感謝
- 特別総会決議2/2023 : ISO会長 Ms Ulrika Francke への感謝
→退任するISO会長の Ms Ulrika Francke は、会長特別顧問
(2024年~2025年)に任命される。(理事会決議 44/2023)



- 2024年総会予定

2024年9月9日~13日 コロンビア・カルタヘナ



紹介動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=3hMSNRAxcmM>

サイドイベント

- パネルディスカッション
- ワークショップ
- エクスカーション
(ローンパイン・コアラ
サンクチュアリ) 等

一部はハイブリッドでも開催



Live scribing



パネルディスカッション

ワークショップ

第57回 DEVCO総会報告

経済産業省国際標準課

国際班 森田 陽彦

令和5年11月8日

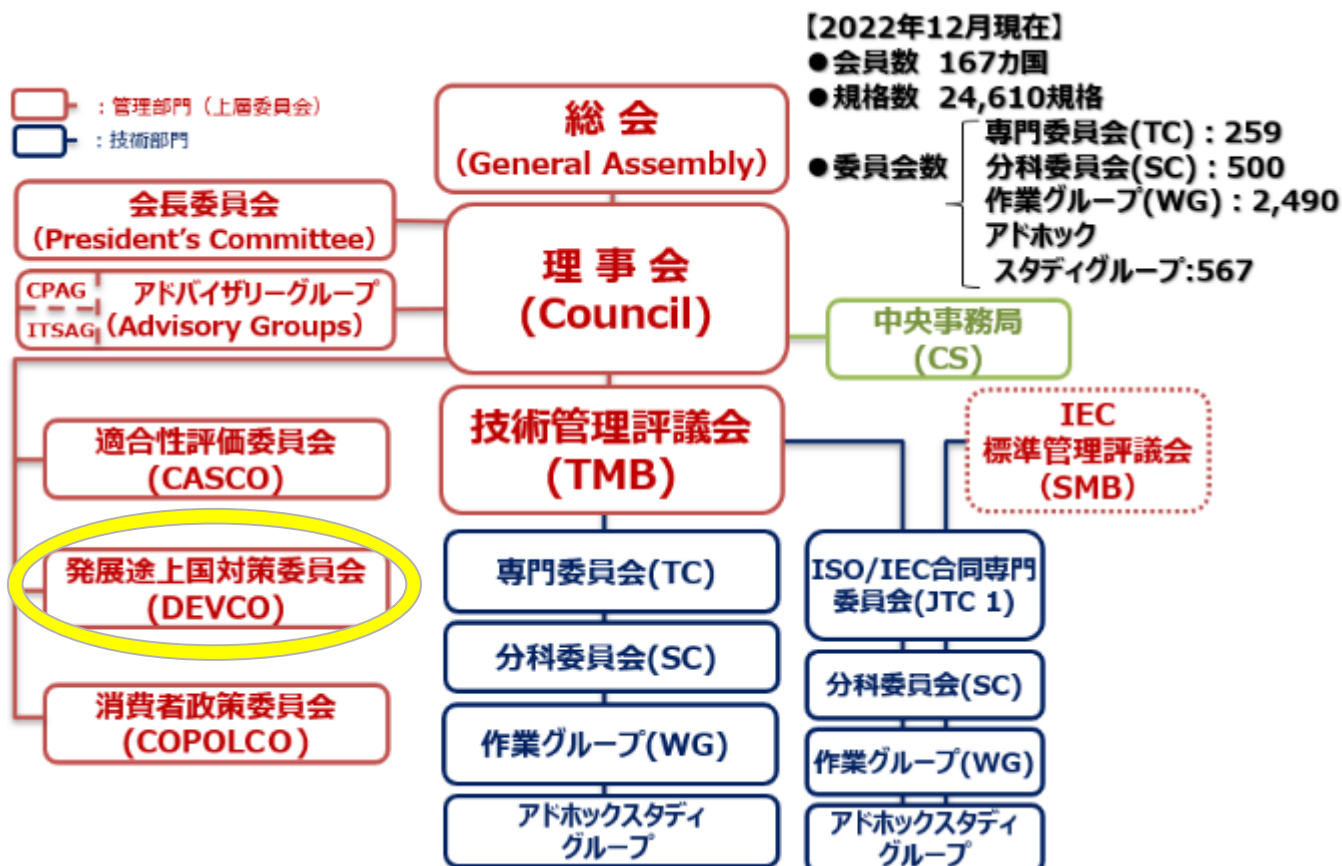
本資料に掲載している写真は
全てISOホームページより引用

DEVCOとは

ISOの上層委員会のひとつである発展途上国対策委員会
(Committee on Developing Country Matters) のこと

■ 委任事項

- ・発展途上国の支援と能力向上
- ・途上国間だけではなく、途上国と先進国間での情報、経験、ベストプラクティスの共有
- ・途上国のためのアクションプランの理事会承認を促進
- ・ISOガバナンスと政策決定に関する途上国会員に影響を及ぼす事項について、理事会に助言及び途上国へガイダンス



【出所 : JISC HP】

第57回DEVCO総会 開催概要

- 日程：9月18日（月） 14:00 – 18:00, AEST
- 主要議題：
 - APDC: Action Plan for Developing Countries 2021-2025の進捗
 - DEVCO WGからの報告
 - 政策開発委員会（PDC）議長の円卓会議
 - TMB活動とSFCCの最新情報
 - DEVCO会員からの最新情報
(セネガル、インドネシア、シンガポール、ベトナム)



会場風景

発展途上国の標準化活用事例（セネガル）

- 気候変動の影響により世界中では、洪水、干ばつ、水不足、水を介しての感染症が問題となっていた。
- ISOの規格が下水道のない衛生設備を改善した。

- ISO 30500 (TMB)
- ISO 31800 (PC 318)
- ISO 24521 (TC 224)



- セネガルのこの取り組みはARSO (The African Organisation for Standardisation) や他の発展途上国に共有。
- PC 305 (非下水式公衆衛生維持システム) でISO 30500:2018を改訂中のため各国に参加及び協力を依頼。
- PC 305で日本はPメンバーとして改訂に協力。

ご清聴ありがとうございました

経済産業省基準認証政策課

国際連携担当調整官

上嶋 裕樹

国際標準課 国際班

森田 陽彦

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/index.html>

日本産業標準調査会ホームページ

<https://www.jisc.go.jp/>